

KAWAGUCHI NORTH

Weekly Report

2015. 12. 9 Vol. 41 No. 16



第 1933 回 12 月 16 日 (水) プログラム
(株)埼玉新聞社 代表取締役社長 小川秀樹様

第 1934 回 12 月 22 日 (水) プログラム
川口北・川口むさし野 RC 合同クリスマス家族夜間例会

第 1932 回例会

SAA 森川昌紀会員

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 開会の点鐘 | 切通会長 |
| 2. ロータリーソング | 榎 孝夫会員 |
| 3. 会長挨拶 | 切通会長 |
| 4. 幹事報告 | 今村幹事 |
| 5. 表彰 | 2014-15 年度会長・大杉能弘会員 |
| 6. 委員会報告 | 財団委員会・青少年奉仕委員会 |
| 7. 出席・ニコニコ報告 | 榎委員長 |
| 8. 卓話 | 盧聖煥会員 |
| 9. 謝辞 | 切通会長 |
| 10. 閉会の点鐘 | 切通会長 |

会長挨拶

切通 勇次

「地球温暖化とアフリカの安全な水の確保」

現代の日本の交通では、自動車が重要な役割を担っていますが、その一方で大量の二酸化炭素を出し、地球温暖化の原因になっています。家庭で最も多く二酸化炭素を出しているのは、照明や家電製品 (32.7%) その次が自動車 (30.3%) です。また、自動車を 5 分間利用すると、約 676g の二酸化炭素が発生するそうです。これは、テレビだと 52 時間、エアコンだと 18 時間使用したのと同じ量になります。つまり、照明をこまめに消すことや、冬場にエアコンの設定温度を低めに設定することも重要です。それ以上に、自動車の利用をひかえることの方が有効だということです。そのため、公共交通の役割が見直されてきています。国土交通省も「環境的に持続的な交通 (EST)」に熱心に取り組んでいます。



地球は「水の惑星」と呼ばれています。しかし、地球上に存在する水のほとんどは海水で、人間が生活に利用できる水はわずか 0.01% にすぎません。この 0.01% の水を 70 億人近くの人間が分けあって生活しているのです。一方で、世界では安全な水を飲めない人が 9 億人近くに上ると言われています。水環境は今後ますます悪化することが予想されていて、持続的可能な社会の形成のために解決すべき課題の一つとなっています。特にアフリカのサハラ以南の国々では、安全な水を手に入れることができないために苦しむ人々が多くいます。また、汚れた水を飲料水として利用するしかない場合も多く、その結果、激しい下痢や感染症に悩まされているそうです。このようなアフリカの水問題を解決するために、UNICEF などの国連機関や、日本を含む世界各国の NGO が協力して、ポンプ井戸を整備するなどの活動を行っています。

RI のテーマ「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift the world

地区活動方針「ロータリーは奉仕を通じて人づくり、自分作り」
地区運営方針「ロータリーを学ぼう、そして楽しもう」
クラブ活動方針
「ロータリー活動を川口北ロータリークラブで楽しもう」

幹事報告

今村 勲

1. 12. 1 月例会スケジュール
12/9 盧 聖煥会員卓話
12/16 (株)埼玉新聞社
代表取締役社長 小川秀樹様
12/22 川口北・川口むさし野 RC 合同
クリスマス家族夜間例会
12/23 休会 (祭日の為)
12/30 休会 (12/22 の振替)
1/6 休会 (第 6 条第 1 節 C)
1/13 新年夜間例会
1/20 地区職業奉仕部門 職業奉仕委員長 清水恒信様
1/27 茂木 浩之会員卓話
2. ガバナー事務所より
*12 月ロータリーレート \$1=120 円



表彰



2014-15 年度
財団ベネファクター
寄付額優秀クラブ賞
第 1 位



ロータリー財団
PHF 4 回目

大杉 能弘会員